



REPORT 2015

中間ディスクロージャー誌 平成28年3月期 営業のご報告

KOGYO REPORT 2016.

目次 Conte	nts
ごあいさつ 業績のご報告(単体)	– 1 – 3
地域とともに 地域密着型金融の推進に関する基本的な考え方・中小企業の経営の改善および 地域の活性化のための取組み状況――― 「地方創生」推進への取組み ―――― ダイバーシティ推進に向けた取組み ――	- 8 13
お客さまのために さらにご利用いただきやすい店舗へ――	15
「親切」の心で CSRの取組み 地域社会・地域経済への貢献 -	17

プロフィール

Profile

名称

株式会社千葉興業銀行 [英文表示] The Chiba Kogyo Bank,Ltd.

本店所在地

千葉市美浜区幸町二丁目1番2号

設立年月日

昭和27年1月18日 (営業開始:昭和27年3月3日)

資本金

621億2,053万3,949円

店舗数

72店舗(県内71店舗、都内1店舗)

従業員数

1.347名

(平成27年9月30日現在)



[ちば興銀は、次世代認定 マークを取得しています。]

平成28年1月発行 千葉興業銀行 経営企画部 〒261-0001 千葉市美浜区幸町2-1-2 Tel.043-243-2111(代表) http://www.chibakogyo-bank.co.jp/

ごあいさつ

平素より、千葉興業銀行をお引き立て賜り、 誠にありがとうございます。

平成27年度中間期の当行の経営内容や業績、 CSRの取組み等をディスクロージャー誌に まとめました。ご高覧いただければ幸いに 存じます。

平成27年度における千葉県経済は、企業 収益の改善が続き、雇用情勢も良好な水準を 維持するなど、底堅い動きを見せております。

このような経営環境の中、当行は、平成25 年度から始まった3ヵ年の中期経営計画「変革・ 成長戦略"2nd Stage"」の最終年度として、 主要戦略の仕上げに取組み、当中間期におき ましても、前期に続いて経営利益が過去最高益 となるなど良好な業績をおさめることができ ました。

また、平成27年7月には26年ぶりとなる 公募増資を実施いたしました。

てれもひとえに、お取引先・株主・地域の 皆さまからのご愛顧によるものと心から感謝 申し上げます。



当行が営業基盤とする千葉県は、首都圏に位置しながら、農水産資源に恵まれ、国際空港を始め、優れた都市機能を併せ持つ全国有数のバランスのとれた産業構造を有しています。さらに、4年後に東京オリンピック・パラリンピックも控え、一層の成長が見込める肥沃なマーケットであります。このような中で「地方創生」が地域経済・社会における一大テーマとなる中、地元企業への積極的かつ安定した資金供給によって、中小企業の「再生」と「成長」に繋げていくことが地方銀行の社会的使命であることをこれまで以上に意識し、財務基盤の一層の強化と企業価値の向上に努めてまいります。

当行は引続き、「地域の お客さまの ベスト・コンサルタント」となるべく、さらには「選ばれ続け、地域・お客さまになくてはならない絶対的存在感のある銀行」をめざし、当行グループの総力を結集して業務に邁進していく所存です。

今後とも、より一層のご支援を賜りますよう お願い申し上げます。

平成28年1月



取締役頭取·CEO 青柳 俊一

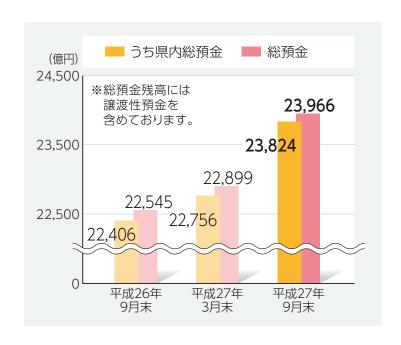
業績のご報告(単体)

平成27年9月期の業績につきましては、預金・貸出金が順調に増加し、年金保険等の販売も好調に推移 しました。また、お取引先の経営改善が進み、与信関係費用が縮小したことなどから、経常利益・中間純利益 ともに増益となりました。経常利益は中間期における過去最高益を計上しております。

(注)当行は主要な営業地域を千葉県内としておりますので、千葉県内の営業店舗の合計計数を「県内」計数として 表示しております。

総預金残高

総預金残高は、前年同期比1,420億円と大幅に 増加し、2兆3,966億円となりました。



預り資産

投資信託は、当中間期におけるマーケット環境が 不安定であったことを背景に伸び悩みとなりましたが、 お客さまの長期・安定的な資金運用ニーズの高まり から、年金保険等は前年同期比125億円増加の 1,434億円となりました。



グラフ等に記載の計数および解説文中の計数は単位未満切捨て表示となっております。

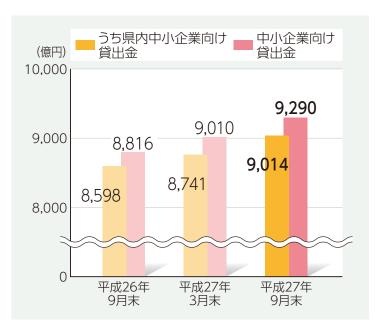
貸出金残高

貸出金残高は、地域のお客さまの資金ニーズに 積極的にお応えした結果、前年同期比1,187億円と 大幅に増加し、1兆8,763億円となりました。



中小企業向け貸出金残高

中小企業向け貸出金残高は、前年同期比473億円 増加し、9,290億円となりました。



住宅ローン残高

住宅ローン残高は、住宅販売会社との連携強化等 により、前年同期比618億円増加し、6,507億円と なりました。



コア業務純益・実質業務純益

コア業務純益は、前年同期比1億33百万円増加し、 51億37百万円となりました。

実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前の業務純益) は、前年同期比79百万円減少し、49億50百万円と なりました。



コア業務 = 一般貸倒引当金 - 繰入前の業務純益 -国債等債券 関係損益



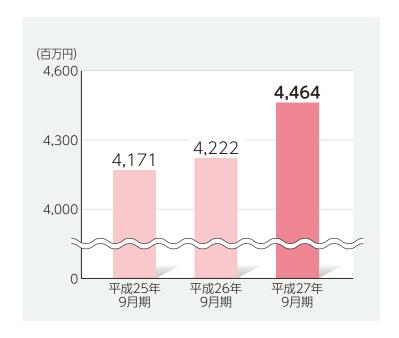
経常利益

経常利益は、前年同期比10億76百万円増加し、 60億53百万円となりました。



中間純利益

中間純利益は、前年同期比2億41百万円増加し、 44億64百万円となりました。



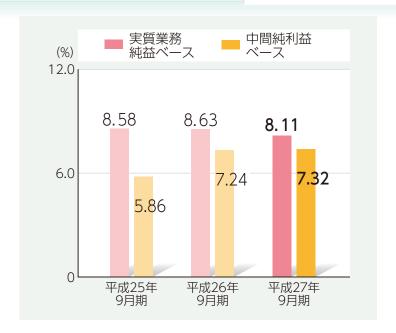
ROE(株主資本利益率)

実質業務純益ベースでは、前年同期比0.51ポイント 低下し、8.11%、中間純利益ベースでは、前年同期比 0.07ポイント上昇の7.32%となりました。

ROE(実質業務純益ベース、中間純利益ベース)

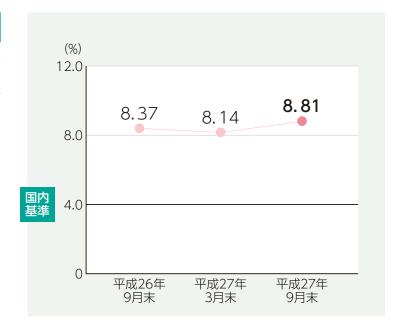
ROF 実質業務 純資産の ÷部合計 × 100 (株主資本 = 純益 利益率) (中間純利益) 平残

値が大きいほど株主資本の「収益性」が高い ことを示しています。



自己資本比率(バーゼルⅢ)

自己資本比率は、平成27年3月末比0.67ポイント 上昇の8.81%となりました。なお、平成27年7月に 実施しました公募増資により、資本金および資本準備 金は合計83億円増加しております。



開示債権比率等(金融再生法基準)

お取引先企業とのリレーション強化、経営課題解決 への支援強化に取組んだ結果、金融再生法基準の開示 債権比率は平成27年3月末比0.10ポイント減少の 1.87%、正常債権を除いた「開示債権」の平成27年9月 末残高は、平成27年3月末比9億円減少の361億円と なりました。



地域密着型金融の推進に関する基本的な考え方

企業理念 地域とともに お客さまのために「親切」の心で

この企業理念の実践こそが、地域密着型金融の実現そのものであると考えております。地域の中小企業・個人事業 主、個人のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えし、円滑な資金供給に努めるとともに、地域の中小企業等に対する 経営支援や地域経済の活性化に積極的に貢献し、地域金融機関としての責務を果たしてまいります。

当行は、地域密着型金融の推進にあたり、①お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮、②地域の面的再生 への積極的な参画、③地域や利用者に対する積極的な情報発信の取組みを、中長期的な視点に立ち、全行的取組み として継続的に推進し、当行顧客基盤の拡大および収益力、財務健全性の向上に繋げてまいります。

数値目標の進捗状況〈ご参考〉

取組み項目	数値目標 (平成25年4月~28年3月)	実績 (平成25年4月~27年9月)	進捗率
創業·新事業支援融資	150件以上	82件	54%
営業斡旋、ビジネスマッチング等の数	300件以上	1,019件	339%
各種講演会、セミナーの開催数	50回以上	87回	174%
個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資	融資実行件数 150件以上	融資実行件数 87件	58%
海外進出支援相談件数	30件以上	50件	166%
経営改善支援取組み率(注1)	11%以上	11.6%	105%
経営改善支援先に対する経営改善計画策定先数	100先以上	125先	125%
経営改善支援先に対する債務者区分ランクアップ率(注2)	10%以上	18.1%	181%
再生計画策定率(注3)	10%以上	31.1%	311%
事業再生に向けた取組み先数 ^(注4)	30先以上	86先	287%
事業承継案件への関与数	100先以上	291先	291%
経営革新等支援機関対応件数	100件以上	178件	178%

- (注1)経営改善支援取組み率=経営改善支援先(正常先除く)/期初債務者数(正常先除く)
- (注2)経営改善先に対する債務者区分ランクアップ率=経営改善支援先のうち期初比債務者区分ランクアップ先/経営改善支援先数(正常先除く)
- (注3)再生計画策定率=再生計画策定先数(正常先除く)/経営改善支援先数(正常先除く)
- (注4)中小企業再生支援協議会支援決定、千葉中小企業再生ファンド活用、RCC企業再生スキーム活用、DES・DDSの活用、再生企業に対するエグジット ファイナンス実行、外部コンサルティング会社活用等の先数

事業性評価への取組み



- ・地域密着型金融の推進による地域経済や地元の産業・企業の発展への貢献に向け、財務データや担保・ 保証に必要以上に依存することなく、お取引先企業の事業内容や成長可能性等を適切に把握した上で(事業 性評価)、これまで以上に、企業の各種ニーズや経営課題に対する各種ソリューションを提供してまいります。
- ・事業性評価にあたっては、お取引先企業の財務状況などの定量的な分析に加え、企業のビジネスモデル、商流、 組織力、技術力といった定性的な分析を行い、経営課題やニーズの把握を行ってまいります。

個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の提供

「知財ビジネス評価書」を活用した融資実行

事業性評価の一環である「知財ビジネス評価書」を活用し、融資を行いました。

「知財ビジネス評価書」とは、知的財産の価値を「見える化」することで、中小企業の事業性や将来性を評価し、円滑な 融資につなげるためのもので、特許庁では、知財金融促進事業の一環として、同評価書の作成支援事業を実施しています。

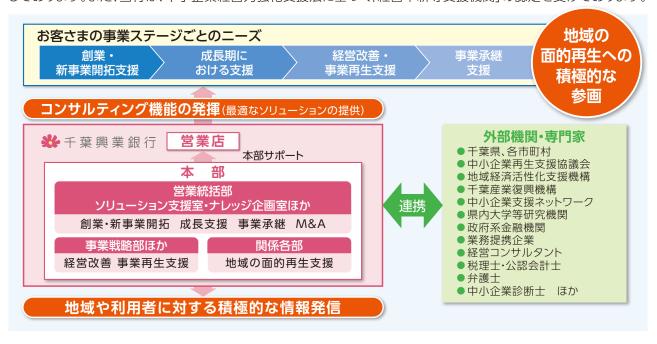
中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取組み状況

中小企業の経営支援に関する取組み方針

当行は、地域の中小企業等お客さまの状況をきめ細かく把握し、関係する他の金融機関等と十分連携を図りながら、 円滑な資金供給に努めるとともに、お借入条件の変更等のご相談へ適切に対応してまいります。特に、地域金融機関 として地域経済の活性化および地域における金融の円滑化等に向け、「地域密着型金融推進に関する基本方針」 「金融円滑化に関する基本方針」に基づき、コンサルティング機能の発揮を通じ、中小企業をはじめとするお客さまの 経営改善等に向けた取組みを積極的に支援してまいります。

中小企業の経営支援に関する態勢整備

当行は、中小企業等の経営の改善および地域の活性化に向け、本部と営業店との協働や、外部機関・専門家の活用・ 連携により、中小企業等のお客さまの抱える経営課題に対し、適切なコンサルティング機能を発揮するよう態勢を整備 しております。また、当行は、中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等支援機関」の認定を受けております。



経営者保証に関するガイドラインへの対応

対応 方針

- ・経営者保証に関するガイドラインの趣旨や内容を十分に踏まえ、経営者保証に依存しない融資の一層 の促進に取組んでまいります。
- ・また、既存の保証契約の見直しについても、ガイドラインに基づき真摯かつ誠実に対応いたします。
- ・保証履行を求める場合には、お客さまの資産状況等を勘案したうえで、履行請求範囲を検討いたします。

で参考 「経営者保証に関するガイドライン」の活用状況(27年9月末現在)

	27年度上期実績
新規に無保証で融資した件数	739
保証契約を変更した件数	7
保証契約を解除した件数	1

お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮(中小企業の経営支援に関する取組み状況)

お取引先企業の事業ステージの見極めと最適なソリューションの提供に努めております。

創業・新事業開拓を目指す企業に対する支援

対応 方針

- ・公的な補助金や制度融資、企業育成ファンド等を活用し、事業立ち上げ時の資金需要へ積極的にお応えして おります。
- ・産官学連携を活用し、企業の技術評価と製品化・商品化、販路開拓、人材確保等を支援しております。

平成25年4月~平成27年9月における取組み実績

- ■1次産業と2次産業、3次産業とを結合した6次産業化事業体への投資や育成支援を目的とする『ちば農林漁業6次産業化ファンド』へ出資参加(25年5月)
- ■創業・起業をサポートする『創業補助金』制度に係るご相談対応:44件(当行が認定支援機関として支援:24件、外部機関との連携:20件)
- ■中小企業庁の中小企業ネットワーク強化事業「ミラサポ」を活用、当行取引先7社に対し専門家派遣を実施(新規事業計画等3件、ものづくり申請支援3件、海外展開支援1件)
- ■聖徳大学学園祭に当行取引先を中心に13社が参加し「千産千商2014」を開催。 約10,000人の来場者があり、当行取引先の商品の対外PRや新商品のマーケティングに寄与(26年11月)

中小企業育成支援

千葉元気印企業大賞

フジサンケイ ビジネスアイとの共催で、活力溢れる経営 で時代を先取りする中小企業・ベンチャー企業を広く表彰 することを通じて地域企業の発展を支援しております。

今年度、「地域資源を活かした事業展開に積極的な企業」 などを表彰する「地方創生賞」を特別賞として創設しました。



成長段階にある企業に対する支援

対応 方針

- ・ビジネスマッチングや技術開発支援による販路拡大支援、海外進出等の新たな事業展開に向けた情報 の提供、事業拡大に必要な調達手段の多様化への対応等、積極的に支援しております。
- ・中小機構等の公的機関、地方公共団体や中小企業支援団体、他の金融機関等と連携し、企業が成長する 過程で必要なサポートを行っております。

平成25年4月~平成27年9月における取組み実績

- ■中堅・中小企業の海外進出サポート体制を強化するため、フィリピンの大手商業銀行「BDOユニバンク」との業務提携を開始(25年7月)
- ■ベトナムの大手商業銀行「ベトコムバンク」、インド商業銀行大手「インドステイトバンク」と業務提携(25年12月・26年1月)、中堅・中小企業の海外進出サポートを強化
- ■業務提携したフィリピンBDOユニバンクより当行取引先のフィリピン現地法人に対し直接融資を可能とする、スタンドバイ クレジットを実行、中小企業の資金調達多様化を支援(26年1月)
- ■中堅・中小企業の海外進出支援を目的として、経済産業省・外務省による海外展開一貫ファストパス制度へ参加(26年2月)
- ■日本政策金融公庫千葉支店と連携した「ちば興銀・日本公庫連携融資『ウィズ』」の活用により、県内企業5社にご融資
- ■JETRO食品輸出商談会に参加。当行取引先10社が千葉市内ホテルでの海外バイヤーとの商談会に参加(26年3月)
- ■中堅・中小企業の海外展開支援の一環として、㈱フォーバル(東証1部)と海外進出コンサルで業務提携。同社の強みである ASEAN4カ国(インドネシア、カンボジア、ベトナム、ミャンマー)への進出支援体制を強化(26年5月)
- ■ベトナム進出を検討している企業への情報提供として、ベトナム・ビジネスセミナーを開催。講師陣には、㈱フォーバル、国際 協力銀行、ベトコムバンク、MasterCardグループ アクセスプリペイド社を招聘、45社が参加(26年8月)
- ■県内企業の海外販路拡大支援の一環として、ジェトロ主催「ジェトロ食品輸出商談会in千葉2014」に協力し、取引先企業の 商談会を誘致(26年8月)

- ■業務提携先ベトコムバンクを取引先企業に紹介。ベトナム南部にできる日系商業施設に進出する現地法人に対し、経常口座 や従業員給与口座作成を支援(26年8月)
- ■中堅・中小企業の海外展開において「ひと」に関する課題へお応えする体制づくりとして国際研修協力機構と業務提携(26年10月)
- ■業務提携した国際研修協力機構を講師に招き、外国人技能実習制度に関するセミナーを開催。当行取引先22社が参加(26年12月)
- ■日本政策金融公庫横浜支店と連携した「ちば興銀・日本公庫連携融資『ウィズ』」の活用により、タイへの海外直接投資に係るご融資を実施(26年12月)
- ■海外進出や事業承継など地元企業の経営課題に対応するため、中小企業基盤整備機構と業務連携・協力に関する覚書を締結(27年1月)
- ■取引先企業の円安対策支援の一環として、為替デリバティブ商品を提供する㈱FPG証券と業務提携(27年1月)
- ■「ちば興銀経営塾」創設10周年記念事業として、同塾の卒業生を中心に視察団を結成し、ベトナム投資環境調査を実施。 当行取引先13社が参加(27年2月)
- ■中堅・中小企業の海外展開支援の一環として㈱プロネクサス(東証1部)と海外進出コンサルで業務提携。台湾を中心に アジア各国への進出支援体制を強化(27年3月)
- ■平成27年度海外ビジネス戦略推進支援事業(中小機構)の補助金への申請サポートを実施(27年5月)
- ■海外実務動画サービスの「PRO.ch(プロチャンネル)」を導入し、企業向けにサービス提供を開始(27年8月)
- ■海外進出コンサル会社の㈱日刊工業グローバルビジネスサポートと業務提携(27年8月)
- ■ASEANビジネスセミナーを開催し、マレーシアハラルビジネスに関する情報提供を実施(27年9月)



海外進出支援

海外進出に関する情報をVOD(ビデオ・オン・デマンド)サービスで提供

国内金融機関として初めて海外進出実務に関する情報のVOC(ビデオ・オン・デマンド) サービス「PRO.ch (プロチャンネル) |を導入いたしました。

「海外進出の準備」から「現地での実務手続き」「生活」に至るまで対応しており、有効な 情報ツールとなります。



実務支援サービスの対応エリア

台湾、インドネシア、中国(上海)、シンガポール、タイ、フィリピン

ASEANビジネスセミナー開催

海外進出・販路拡大を検討されているお客さまへの情報提供のひとつとして、投資先 として人気のマレーシア発ハラルビジネスにスポットを当て、ASEANビジネスセミナーを 開催しました。



「海外ビジネス戦略推進支援事業|に当行お取引先2案件が採択!

独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施する「平成27年度 海外ビジネス戦略推進支援事業」に、当行の提案、 申請手続補助により、お取引先2案件が採択されました。

当行は認定経営革新等支援機関として、同機構が実施する「認定支援機関向け海外展開支援研修」に行員を派遣 するなど、お取引先の海外展開等支援態勢の強化に努めております。



経営改善・事業再生が必要な企業に対する支援



- ・経営課題の把握と分析による取引先企業の事業持続可能性を踏まえた経営改善・事業再生等に対して 積極的に取組んでおります。
- ・経営改善・事業再生支援の実効性を向上させるため、行員のスキルアップに取組んでおります。

平成25年4月~平成27年9月における取組み実績

- ■経営改善支援先274先を中心に経営改善支援·事業再生支援へ積極的に取組み
 - ●「中小企業再生支援協議会」2次対応決定先:59先
 - ●「中小企業再生支援協議会」扱いDDSスキーム実行先:5先
 - ●経営改善計画策定先:125先
 - ●経営改善支援による債務者区分ランクアップ先:46先
- ●認定支援機関申請先:42先(千葉県41先、東京都1先)
- •「産業復興機構」「東日本大震災事業者再生支援機構」 買取り実施先:6先
- ●取引先課長研修会開催:71名参加

事業承継が必要な企業に対する支援

対応 方針

- ・事業承継問題は当該企業の存続のみならず、取引先との商流、従業員の雇用、地域への影響等も大きい ことから、経営者へ積極的に関与しております。
- ・必要に応じて税理士や弁護士等の外部専門家と連携し、自社株評価や相続税試算等を行い、相続や自社株 譲渡の対策、後継者の株式買取資金を支援しております。
- ・資産の承継以外にも、事業の見直し(第二創業)、ノンコア事業の切り離し、M&A、後継経営者の人材育成 等、存続に必要な提案を積極的に行っております。

平成25年4月~平成27年9月における取組み実績

- ■相続関連業務のサポート体制拡充のため、「株式会社山田エスクロー信託」(25年8月)、「株式会社朝日信託」(26年12月) との業務提携を開始
- ■次世代経営者の育成支援として『ちば興銀経営塾』を運営 【第5期生】参加30名·25年6月~26年9月·講座15回 【第6期生】参加36名·27年5月~28年10月·講座15回
- ■業務提携先の日本M&Aセンター仲介により、M&A案件6件成約
- ■ちば興銀経営塾5期生による台湾視察において、台湾行政院との意見交換や現地企業訪問を実施(26年5月)
- ■事業承継解決策のひとつであるM&Aへの取組み強化を目的に、「株式会社AGSコンサルティング」、「株式会社FPG」、 「山田ビジネスコンサルティング株式会社」、「山田FAS株式会社」との業務提携を開始
- ■千葉県よろず支援拠点(公益財団法人千葉県産業振興センター)との共催セミナーを3回実施
- ■M&Aにかかる当行の取組みが評価され、日本M&Aセンター「第三回バンクオブザイヤー表彰式」において、「アクティ ベーション賞」を受賞(27年6月)
- ■当行紹介により「東京中小企業投資育成株式会社」の新規投資1先成立(27年9月)
- ■事業承継に関する相談:291先(本部サポート実施案件)
- ■相続に関する相談:307先(本部サポート実施案件)
- ■M&Aニーズ対応:331件(本部サポート実施案件)

事業承継支援

「アクティベーション賞|受賞!

~日本M&Aセンター「第三回バンクオブザイヤー表彰式」~

M&A業務の提携先である株式会社日本M&Aセンターより、「第三回 バンクオブザイヤー表彰式 | において、「アクティベーション賞 | を受賞 いたしました。

「バンクオブザイヤー表彰式」における県内地銀での受賞は当行が初と なります。



次世代経営者育成支援

ちば興銀「経営塾」の運営

ちば興銀「経営塾」は、地元企業育成支援・後継経営者育成支援の 取組みのひとつとして平成16年9月に設立されました。幅広い視点 での経営を捉えていただくための視察会やセミナーを定期的に開催 しております。



地域や利用者に対する積極的な情報発信

地域密着型金融推進の取組みについては、さまざまな機会を捉えて積極的な情報開示を行っております。 本ディスクロージャー誌とあわせて当行ホームページ(http://www.chibakogyo-bank.co.jp/)をご覧ください。

地域の面的再生への積極的な参画(地域の活性化に関する取組み状況)

対応 方針

- ・[医療・介護・福祉]や[農林水産]といった成長分野事業の育成を通して地域経済の活性化に繋げております。
- ・地方公共団体や中小企業支援団体と連携し、地域情報の収集・蓄積と分析、ノウハウ・人材の提供を行っております。

平成25年4月~平成27年9月における取組み実績

- ■平成25年9月2日発生の突風等による被災者に対する「災害復旧支援資金 『頑張ろう!千葉』 はらびに 「災害復旧支援ローン」 の取扱い開始(25年9月)
- ■メガソーラ建設取組み支援:融資実行額4.452百万円(15件)
- ■「北海道銀行」と連携した地元物産展を開催
 - ・千葉県の物産販売と観光PR(25年8月、札幌ドーム球場) ・北海道物産展(25年9月、QVCマリンフィールド)
- ■JR東日本による地域再発見プロジェクト「上野駅地産品ショップ「のもの」」を共催、当行お取引先5社が千葉県物産品等の販売へ参加(25年7月)
- ■インターンシップの受入れ、県内大学・短大生29名が参加(26年8月)
- ■各営業店において職場見学の受入れ(県内小・中学生、高校生42名が来店・見学)
- ■千葉県農林水産部と営業統括部ソリューション支援室とのアグリビジネス(農林・畜産・園芸・販路等)に関する勉強会を 開催、施策提言を実施(25年9月~26年1月)
- ■医療系コンサルティング企業(1社)および医療分野に強い税理士法人(1社)と新たにビジネスマッチング契約を締結、医療 経営コンサルティングおよび医療承継への取組みを強化
- ■取引先医療法人の相続・事業承継対策として、前理事長である実父から現理事長(息子)への医療法人出資持分贈与に ついて、相続時精算課税制度を活用し、納税資金をファイナンス支援(26年3月)
- ■医療・介護事業者の多いエリアの担当店に医療推進リーダー21名設置。コンサルティング機能発揮により、医療・介護関連で 33件の新規取引を開始(26年9月)
- ■REVIC「地域ヘルスケア産業支援ファンド」へ出資。千葉県内のみならず医療・介護・ヘルスケア事業者への支援を強化(26年11月)
- ■全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」千葉大会を千葉銀行と共同開催、県内高校生48名が参加(26年12月)
- ■南房総市と包括連携協定(26年12月)、館山市と包括連携協定(27年2月)、鴨川市・鋸南町と連携協定(27年2月)締結。 いすみ市・勝浦市・銚子市・茂原市(27年7月)、旭市・富津市(27年8月)、柏市・白井市・千葉県税理士会(27年9月)と連携 協定締結、地域再生・活性化の取組みを積極的に支援
- ■千葉県内の環境変化(高齢化の進展、地域包括ケアシステム対応、医療の提供体制の変化等)を踏まえ、医療経営士試験 合格に注力。平成26年度は、医療経営士1級に1名、3級に54名が合格。医療経営士合格者累計63名(27年3月)
- ■医療推進リーダー向けに6回の外部講師を招聘し勉強会を開催。医療・介護関連で上期は33件、下期は47件の新規取引を開始(27年3月)
- ■地方創生の取組みとして、南房総市と連携し、同市内の農業法人に対して、「南房総市中小事業および雇用創出支援事業」 の補助金制度を活用したコンサルティングを行い、補助金と合わせて設備資金をファイナンス支援(27年7月)
- ■次世代を担う子どもたちを対象とする金融教育・しごと体験イベント「夏休み体験隊『サマーキッズ・スクール2015』」を 開催、県内小学生23名が参加(27年8月)
- ■27年度上期において医療・介護関連で60件(前年同期比+27件)の新規取引を開始(27年9月)

地域活性化の取組み

ちば興銀presents夏祭りスペシャルナイター

毎年行っているマッチデーとしてQVCマリンフィールドで「ちば興銀 presents夏祭りスペシャルナイター | を開催し、先着2万人にオリジナル うちわやラッキーナンバー抽せん用紙を配布するなど、さまざまなイベント を行いました。

始球式では、当行で働いている"ママ行員"6名が登場する特別セレモニー も行われました。



夏休み体験隊「サマーキッズスクール2015」開催

県内の小学5、6年生を対象にQVCマリンフィールドにて9回目となる 金融教育・しごと体験イベントを行いました。

千葉商科大学教授の伊藤宏一先生を講師として、お金について学んだ後、 当日のマリーンズ戦のプログラムを販売する「しごと」を体験していただき ました。



「地方創生」推進への取組み

ちば興銀は、千葉県のさらなる発展に寄与するため、「地方創生」への取組みをさらに充実させてまいります。



「地方創生」に向けた行内体制整備

ちば興銀では「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の決定を受け、県・市町村がまとめる「地方版総合戦略」 の策定や推進を支援するため、行内に「地方創生推進会議」を設置いたしました。

「地方創生推進会議」では、「環境」「観光」「医療・介護」「アグリ・フード」などの分野における地域産業を強化 するための活動を行ってまいります。

千葉県商工労働部との意見交換会を実施

【平成27年7月~9月】

千葉県商工労働部 のご協力により、千葉 県の中小企業戦略や 産業振興、観光推進 などの施策を学ぶ意 見交換会を実施



地域発展・活性化支援に関する相互連携協定の締結

平成26年 12月 | 南房総市

平成27年 2月 館山市、鋸南町、鴨川市

平成27年 7月 勝浦市、いすみ市、銚子市、茂原市および茂原商工会議所

平成27年 8月 旭市、富津市

平成27年 9月 千葉県商工会連合会(県下40の商工会)、柏市、

白井市、千葉県税理士会

平成27年 11月 匝瑳市、御宿町

※これまでに君津市と連携協定を締結しています

スケジュール

7/21 千葉県経済の活性化に向けて~地方創生について~

7/29 ちば中小企業元気戦略について

8/5 産業振興ビジョンについて

8/19 観光立県ちば推進基本計画について

9/ 2 就労支援(障がい者)・産業人材の育成支援について



いすみ市

産官協力による新入行員 課外研修会の開催

【平成27年6月】

「地域とともに」 歩む行員育成への 取組みとして、市原 市および小湊鐡道 株式会社様のご協 力を得て、当行新入 行員の課外研修会 を開催



小湊鐡道を活用した市原市観光イベ ント案のプレゼンテーション大会

匝瑳市と連携協定を締結

【平成27年11月】



御宿町と連携協定を締結 【平成27年11月】

農商工連携による6次産業化支援【平成27年7月】

「南房総市との包括的な連携協定」による第1号案件として、南房総市商工 観光部と連携し、同市内の農業法人に対して観光事業などの6次産業化を支援

当行が行った支援内容

- •農産物の生産・加工・販売(いわゆる 6次産業化)に関する提案
- 観光事業構想に関するアドバイス
- 補助事業申請にかかるサポート
- 一連の事業にかかる金融支援の実施



農業法人の 代表と計画 を話し合う 須藤鴨川支 店長(右)

館山市

「国學院大學ホームカミングデー院友会 支部物産展」への協力【平成27年10月】

国學院大學 渋谷キャンパスにて開催の 「ホームカミングデー院友会支部物産展」

における勝浦市、 鴨川市、館山市、南 房総市の名産品出 展および観光案内 への協力



ダイバーシティ推進に向けた取組み

ちば興銀では、女性の活躍促進に向けて「ポジティブ・アクション」と「ワーク・ライフ・バランス」の取組みを積極的に進め ております。

ポジティブ・アクション

ワーク・ライフ・バランス

管理職への登用 職域拡大

(融資事務・融資渉外業務、本部専門業務等)

当行の女性管理職者は186名で、管理職者数に 対する割合は24.6%となっております。

また支店における融資事務・融資渉外業務担当者 は47名、本部専門業務担当者は75名となっており ます。(平成27年9月30日現在)

女性行員の「積極採用」「職域拡大」「管理職登用」 に積極的に取組んでおります。

行内規程の整備 復職支援プログラムの運用

産休・育休から復職する際の支援プログラムを実施 し、月に一度の復職支援ニュースの発行、新商品や 事務の改正点等の研修を実施し、スムーズな復職を 支援しております。

「地域貢献」「出産・育児」「家族介護」など、さまざま な分野において、仕事と生活の両立支援を進めて おります。



当行初の女性取締役である戸谷氏に ダイバーシティへの取組みについてお聞きしました



女性活躍推進のうねりは、法制以前からありました。特にちば興銀は、第1回千葉県男女 共同参画推進事業所知事表彰を受賞した県内でも男女共同参画推進のトップリーダー的

今年は女性活躍推進法が施行され、行動計画を平成28年3月までに策定することになり ます。多くの企業で女性のリーダーや管理職を増やすことが月標になっていますが、最も

重要なことは、「どのような職場環境であれば、女性も男性も、 誰もが理解し合い、納得できる働き方を実践していけるか」を 見出すプロセスにあると思います。

私もこのプロセスに必要な、営業店舗訪問、女性支店長・ 管理職の方々との意見交換を始めました。これらをもとに、社外 取締役として私にできることを発信していきたいと思います。



取締役 戸谷 久子

※ダイバーシティ(Diversity=「多様性」)とは、性別や年齢、考え方などさまざまな「違い」を尊重し、受け容れていくことで、多様な人材が能力を 発揮できる環境を作り、企業パフォーマンスの向上を図ることを目的とした考え方です。



女性向けマネーセミナーを開催

当行津田沼支店およびそごう千葉店において、投資のはじめかたを見つけたい 女性のために、投資の基本的な考え方から商品選びのポイントまでをやさしく解説 する「女性のためのマネーセミナー」を開催しました。

次世代認定マーク「くるみん」3回目の取得

当行では、従業員が仕事と育児を両立できるよう支援するための環境整備・各種施策等の実施を、 従業員に対するCSR(企業の社会的責任)の一環と位置づけ、積極的に取組んでおります。

次世代育成支援対策推進法施行以後、当行が取組んできた従業員に対する各種の育児支援策など が評価され、当行は千葉県における第1号の認定企業となりました。今回で3回目の認定となります。



さらにご利用いただきやすい店舗へ

ちば興銀はこれからもより多くのお客さまにご来店いただけるよう、便利でやさしい店づくりをすすめてまいります。

東松戸支店・新規出店(平成28年1月)

平成28年1月12日(火)に東松戸支店を新規出店いたし ました。

新店舗は、JR武蔵野線と北総鉄道北総線の2路線が利用 できる東松戸駅前アルフレンテビル2階となります。

駅ロータリー前でわかりやすく、北総線東松戸駅からは 連絡通路で同ビル2階に直結しています。店舗ロビーは千葉 県産の木材を使用し、開放感のあるスペースを確保しま した。

また、共同使用の自走式立体駐車場(156台)が完備され ており、お車でも安心してご来店いただけます。



右から青柳頭取、本郷谷松戸市長、石井東松戸商店会協同組合 理事長、上柿東松戸支店長

四街道支店•新築移転(平成28年8月予定)

四街道支店は平成28年8月を目処に、イトーヨーカドー 四街道店(四街道市中央5番地)敷地内に新築する店舗へ 移転することとなりました。

イトーヨーカドー四街道店と同一敷地内となる新店舗 は、駐車場も共同利用となり、お買い物とあわせてご利用 いただけるなど、さらに便利になります。



六実支店・リニューアル

平成27年5月に新店舗での営業を開始 いたしました。

21時まで利用可能な全自動貸金庫 (365日稼動)や、個別相談ブースなど を設けております。

8月には駐車場整備が完了し、グランド オープンいたしました。店舗前面に広々 とした駐車スペースを確保し、お車での ご来店時に、よりスムーズな出入りが できるようになりました。





卓上型聴こえ支援機器「COMUOON(コミューン)」を全店に設置



高齢者・障がい者にやさしい店頭受け入れ態勢を充実させる ために、卓上型聴こえ支援機器「COMUOON(コミューン)」を 全店に設置いたします。

今回の導入により、お客さまとのスムーズなコミュニケーション および聴きもれ防止に役立てていきます。

「コミューン」の全店設置は、全国金融機関で初の取組みとなり ます。

設置済み店舗(平成27年12月31日現在、22店舗)

本店営業部、千葉支店、蘇我支店、浜野支店、白旗支店、鎌取支店、稲毛 支店、検見川支店、真砂支店、幕張本郷支店、幕張テクノガーデン支店、 小倉台支店、千城台支店、千葉駅前支店、花見川支店、土気南支店、四街道 支店、市川支店、八幡支店、中山支店、船橋支店、津田沼支店 (平成28年3月末までに上記以外のすべての店舗に配置)

卓上型聴こえ支援機器「COMUOON(コミューン)」について

株式会社ユニバーサル・サウンドデザインが開発した卓上型の聴こえ支援機器で、卵型の特殊スピーカーを難聴者に向け、マイクで 話すと、その人にだけ声がはっきり聴こえ、周囲の人には拡大された声が漏れづらいのが特徴です。

当行では27年4月以降、3店舗で試験導入しておりましたが、お客さまアンケートでも好評を得ていたことから、全店への設置となりました。

「車いす|設置と「サービスケアサポーター|の配置

ご高齢のお客さまやお身体の不自由なお客さまにご利用いただくため、新たに 24店舗に車いすを設置、既に設置済みの店舗とあわせ、46店舗に車いすが設置 されました。

また、車いすの安全な操作の習得などを目的として、車いす設置店舗のロビー スタッフ全員が、平成28年3月末までに「サービスケアサポーター講座」を受講 いたします。



タブレット端末(iPad Air2)の導入

お客さまにタイムリーな情報提供と、よりわかりやすいご提案を行うため、タブ レット端末(iPad Air2)を本格導入いたしました。

平成27年7月より、全店の資産運用担当者を中心に130台で運用を開始し、9月 末までに計400台を導入しました。



ちば興銀「LINE@」アカウント開設

若年層への情報発信を強化するため、コミュニケーションアプリ 「LINE(ライン)」にアカウントを開設しました。

友だち登録で、おトクなキャンペーン情報などをお届けいたします。



登録

登録方法

●ID検索

●アカウント名検索 「その他」▶「公式アカウント」▶「ちば興銀」を入力して検索▶

「その他」▶「友だち追加」▶「ID検索」▶「@chibakogin」を入力して登録

「その他」▶「友だち追加」▶「QRコード」▶ バーコードを読み込み登録 ●QRコード



CSRの取組み 地域社会・地域経済への貢献

文化・スポーツ活動



ちば興銀コスモスコンサート

地域の皆さまにクラシック音楽や映画音楽 などを間近で親しんでいただけるよう、そごう 千葉店前JR連結口広場にて、ミニコンサート を22年連続で開催しております。



ちば興銀コスモスセミナー

「千葉県に関する知識・情報をお客さまと共有する」をコン セプトに無料公開講座を毎年開催しております。第17回は 「幕末期下総の博徒たち」をテーマに開催し、76名のお客さま が受講されました。





各種スポーツ大会・文化活動への貢献

当行と千葉県ゲートボール連盟との共催による「千葉興業 銀行杯親善ゲートボール大会」を、26年連続で開催しており ます。

そのほか、千葉県体育協会や千葉県障がい者スポーツ レクリエーション協会、千葉県文化振興財団等への協賛・協力 も行っております。

「おもてなし運動」への参加

2020年東京オリンピック・パラリンピックの計7競技が千葉県で開催されることが決定し、 来訪者の増加が見込まれています。

千葉県への来訪者が、心から満足し、多くの方々に何度も訪れてもらえるよう、自治体・ 企業・県民が一体となって、千葉県の"おもてなし力"向上を目指して、ちばプロモーション 協議会(会長 森田 健作千葉県知事)が「おもてなし運動」を行っています。

当行は「おもてなし運動」に協力し、全店で同運動に参加しております。



社会奉仕活動



「小さな親切」運動の推進

当行は、33都道府県が参加する全国的組織「小さな 親切」運動の千葉県本部として、県内の運動推進をお手 伝いしております。



当行行員は全員「小さな親切」運動に会員登録しており、地域のボラン ティア活動や寄付・募金活動等に取組んでおります。

スポークライトの贈呈

当行と千葉日報社が共同で設立した「コスモス交通安全協力会」より、 交通事故撲滅の願いをこめて、県内新中学1年生へスポークライト(自転車 事故防止用反射板)を毎年贈呈しております。(21年間で延べ248,400個)





「チーバくん」を活用した子育で応援

「千葉県安心こども基金」に対し、当行とメットライフ生命による共同社会貢献プログラムと して、半年ごとに対象商品の販売件数に応じた一定額を寄付しております。

「チーバくん」を活用した子育て応援事業として、今回は広く活躍する有識者を招き、県内の

千葉県許諾 第A211-3号

高校生等を対象に、子育ての意義や親の役割等についての講習会を実施しました。

環境への取組み



環境美化活動の実施

春の県下一斉ゴミゼロ運動に行員・スタッフおよびその 家族がボランティア参加しております。(全部室店参加 総数約1,000名)。また、国道14号・357号沿線の12企業・ 団体で組織される「国道をきれいにする会」に参加し、毎月 沿道の清掃を実施しております。



ちば興銀の森

平成26年4月より県有林において、「ちば興銀の森」活動 を実施しております。

塩害や松くい虫などの影響により壊滅状態にある匝瑳市 新堀海岸県有林の再生を目指して、5年間で5.000本の植栽 や草刈などによる海岸保安林再生活動を展開しております。



企業理念

・地域とともに

私たちは、地域とともに歩む銀行として、人々の幸せを求めて、 豊かなふるさとづくりに努めます。

- お客さまのために

私たちは、積極的にお客さまのニーズに応え、創造性を発揮し、 より質の高いサービスの提供に努めます。

「親切」の心で

私たちは、心のふれあいを大切にし、自己を磨き、 親切ナンバーワンをめざします。

〈REPORT2015 千葉興業銀行中間ディスクロージャー誌〉

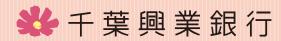
本誌は、銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料(業務および財産の状況に関する説明書類)です。 このうち、財務データ(財務諸表等の諸資料)および自己資本の充実の状況等について(自己資本比率規制第3の柱 (市場規律)に基づく開示)は、別冊に記載しています。

本誌に掲載の諸計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

〈別冊のご案内〉

銀行法施行規則第19条の2および19条の3、金融機能の再生のための緊急措置に関する法律第7条に基づく開示事項に関して別冊を作成しています。





〒261-0001 千葉市美浜区幸町二丁目1番2号 TEL.043-243-2111 http://www.chibakogyo-bank.co.jp/